

Vol.78

Vol.78 (2019年春号)

PMI 日本支部 ニュースレター

Best Practice and Competence / PM事例・知識	3
Activities / 支部活動	7
Stakeholders / 法人スポンサー紹介	14
PM Calendar / PMカレンダー	19
Fact Database / データベース	20
Editor's Note / 編集後記	24

Best Practice and Competence / PM 事例・知識

- ◆【部会紹介シリーズ】 その22 『中部ブランチ 運営委員会』 3
中部ブランチ 運営委員会 代表 井奈波 誠
- ◆【部会紹介シリーズ】 その23 『中部ブランチ PMサロン/セミナー』 4
中部ブランチ PMサロン/セミナー 代表 奥田 智洋
- ◆【部会紹介シリーズ】 その24 『中部ブランチ 地域ソーシャルマネジメント研究会』 5
中部ブランチ 地域ソーシャルマネジメント研究会 代表 武内 克則

Activities / 支部活動

- ◆創立20周年記念事業 総括 7
PMI日本支部 事務局
- ◆「PMI日本フォーラム2019」スポンサーを募集中 10
PMI日本支部 事務局

Stakeholders / 法人スポンサー紹介 14

- ・株式会社オーシャン・コンサルティング
- ・株式会社 SHIFT

PM Calendar / PM カレンダー 19

- ・PMI日本支部関連セミナー等

Fact Database / データベース 20

Editor's Note / 編集後記 24

◆商標等について

「PMI Project Management Institute」とそのロゴおよび「PMP」、「CAPM」、「PMBOK」、「OPM3」、「Quarter Globe Design」は、米国および他の国で登録されているプロジェクトマネジメント協会のマークであり商標です。プロジェクトマネジメント協会のマークの対象リストについては、プロジェクトマネジメント協会の法務部門へお問い合わせください。

「ITIL® (IT Infrastructure Library)」は、英国及び欧州連合各国における英国政府 Cabinet Office の商標又は登録商標です。

Best Practice and Competence / PM 事例・知識

【部会紹介シリーズ】 その22

■ 中部ブランチ 運営委員会

中部ブランチ 運営委員会 代表 井奈波 誠

中部ブランチは、2009年から地域サービスのボランティア活動を始め、2015年11月にブランチ化しました。ブランチ化に伴い以下の3部会で構成し現在活動を継続しています。

- 運営委員会
- PMサロン/セミナー
- 地域ソーシャルマネジメント研究会

運営委員会の活動目的は中部ブランチの活動が円滑に行われるようにすることであり、以下の活動を行っています。

1) 企画イベント

中部地区会員へのサービス向上施策の検討・企画
中部ブランチ・ネットワーキング

2) セミナー

中部ブランチ研究会 内部成果発表会
「PMサロン/セミナー」運営支援
セミナーの企画・運営

3) 運営促進

中部ブランチ内コミュニケーション促進、効率化
中部ブランチWEBの企画とコンテンツ作成推進
部会を横断する運営の活性化

4) PM普及

ソーシャル、アカデミック・プロジェクトへのプロジェクトマネジメントの普及

運営委員会では、中部ブランチの全般的施策の企画、セミナー、ワークショップの企画、実施を行っています。それを支える渉外活動として、PMI日本支部のWebサイトを通じた情報発信、中部ブランチ独自の情報発信を実施しています。それらを通じ、中部地区に在住・在勤しているPMI日本支部会員へのサービス向上、一般のPM実践者への学びの場、PDU取得機会の提供など幅広く活動しています。

運営委員会の参加メンバーはエンジニアリング、IT、製造業などさまざまな業界の方々に構成されています。月1回のペースで開催している運営委員会で、企画立案、活動実施、活動の反省等をテーマとして、持続可能な活動を目指しています。

月1回の運営委員会は、Face to Face での会議体としていますが、Web会議での参加も前提として開催しています。毎回ではありませんが、運営委員会の開催後に交流会も行い、コミュニケーションの強化を図っています。以下は、運営委員会に参加したメンバーの集合写真、交流会の写真です。



メンバーの集合写真



交流会

■部会紹介シリーズ

【部会紹介シリーズ】その23

■中部ブランチ PMサロン/セミナー

中部ブランチ PMサロン/セミナー 代表 奥田 智洋

PMサロン/セミナー部会は、マネジメントに関する情報共有の場を提供し、知識循環を起こすことで、地域における価値創出を支援することをミッションとしています。2015年の中部ブランチ設立以降、以下のPMサロン、セミナーを開催してきました。

PMサロンは各回のテーマに関連した興味ごとや悩みごとを持たれた方が、気軽に集える場の提供をコンセプトとして開催しています。ワンウェイの講習、ワーキングを伴う勉強会、自らが話したいこと/聞きたいことを5分間のプレゼン(LT: Lightning Talks)で発表しあう会などさまざまな形式で企画しています。

セミナーは、プロジェクトマネジメントの実践の役立つテーマを設定し、PMI日本支部の他部会とタイアップした企画、中部ブランチ独自で企画したものを開催しています。

セミナー・プログラムとの企画は、首都圏で開催した月例セミナーを地域に横展開するもので、年1回のペースで開催しています。

他部会との企画は、これまでに、ソーシャル・プロジェクトマネジメント研究会、アジャイルプロジェクトマネジメント研究会、ポートフォリオ/プログラム研究会とタイアップした実績があり、各研究会の方に講師を担当いただきました。これからも、セミナー・プログラム、その他の部会、そ

して関西ブランチとのタイアップを継続していく予定です。

【2016年PMサロン】

- 1月 PMサロン年間計画+研究会活動内容発表LT
- 2月 PMP受験対策～私の勉強法～
- 3月 防災「レク」プロジェクト事例の紹介
- 4月 情報システム開発における開発方法論と課題
- 5月 今更、初めてのEVM導入
- 6月 PM夜話～私の失敗事例～
- 7月 プロジェクトにおける品質/テストと品質のマネジメント
- 9月 見積に関するあれこれ
- 10月 関係構築力UPワークショップ
- 11月 プロジェクトマネジメントの全体像とシステム思考

【2017年PMサロン】

- 1月 【地域共催】中部団体連携 年間スケジュール合同発表会
- 4月 基本的なプレゼンテーション

【2017年セミナー】

- 3月 トヨタのPDCA から学ぶ、個人も組織も成長させる方法
- 5月 ソーシャルPM手法の2日間集中講座



PMサロンの様子



セミナーの様子

■部会紹介シリーズ

【2018年セミナー】

- 6月 出張、アジャイル実戦お悩み相談室！ in名古屋
- 8月 もう振り回されない！クレーム発生時のハンドリング術
- 9月 ポートフォリオ/プログラムマネジメント

2019年度は年間3回のセミナー開催と毎月のPMサロン開催を目標とし、中部地区でのマネジメント・ノウハウの共有とPMI活動の仲間を増やすことにつながればと思います。

特に、PMサロンは、PMBOK®の10の知識エリアごとに毎回テーマを設定し開催する予定です。2019年度を開催のスタートとして、次年度以降も継続していく予定としています。

【部会紹介シリーズ】 その24

■中部ブランチャ 地域ソーシャルマネジメント研究会

中部ブランチャ 地域ソーシャルマネジメント研究会 代表 武内 克則

■はじめに

本研究会は、地域の活性化や社会的な課題の解決に向け、プロジェクトマネジメントがどのように貢献できるかを考え実践する研究会です。2015年11月、中部ブランチャ設立と同時に設立されました。中部地域ならではのプロジェクトマネジメントに関するよい取り組みを皆さんと共に見つけ、それらの知識・経験を循環・継承・発信する活動を通じて、プロジェクトマネジメントの大切さを世の中に広めていくことを目指しています。さまざまな実践事例から得た学びやノウハウ、およびそれらより導いた手法や枠組み（フレームワーク）をツールとして用いながら、地域の社会的な課題の解決に貢献します。

■これまでの活動

2016年度は活動元年として研究会の方向性を定め、活動となる基盤を作ることを目標に活動しました。方向性として二つの軸で考えることを決めました。ひとつは人に焦点を当て人の内面から社会的な課題の解決に向けた活性化を行うこと、もう一つは地域の社会活動の中でプロジェクトマネジメントの「手段」としての有用性を証明し、さまざまな場面で「実践」、「活用」を行うことで地域の活性化に貢献することです。活動基盤を整えるため、ソーシャルPM研究会に協力を仰ぎ、さまざまな勉強会に参加し、知識を習得しました。

2017年度は継続して手法を学びながら、中部地域で社会課題解決に幅広くかつ先進的に取り組んでいる豊田市役所の



地域ソーシャルマネジメント研究会の様子



おいでん・さんそんセンターの様子

活動に注目し、「まち」と「いなか」のプラットフォームとして活動している「おいでん・さんそんセンター」の地域支援活動状況の調査や中部ブランチャ2周年記念セミナーにて「環境先進都市を目指す豊田市の取り組み」を講演いただくなど

■部会紹介シリーズ

関係構築も行い、今後の本格的なソーシャル活動への足掛かりができました。

2018年度は、豊田市役所主催の「SDGs」や「50年後のとよた」などのシンポジウムへの参加、またソーシャル活動にも参加し、プロジェクトマネジメントの理解活動や実践に向けての企画、その先行モデルケースとなるソーシャル活動体の選定し「実践」しました。

対象は豊田市からご紹介いただいた「廃校活用プロジェクト」です。住民の皆様は「大人がしあわせな姿をこどもに見せることがこどものしあわせにつながる」との信念のもと、いなかでよりよい暮らしをするためさまざまな取り組み



つくラッセルの様子

PMI日本フォーラム2018の発表テーマ

を行っています。そこで「こどものしあわせにつなげるプロジェクトマネジメント講座」を実施しました。活動を通じて、社会課題への取り組みに関わる人々の思いやマネジメントの浸透と重要性を再認識しました。また、社会問題は、現地に行き、課題認識を持った人々と直接コミュニケーションを取らないと判らないことが多く、当事者のように寄り添うことが良策の一つとなりえることを学びました。PMI日本フォーラム2018では、その研究成果を発表しました。

■現在の活動

2019年度は豊田市のフィールドを活動の場として研究活動を継続しています。対象は「豊田市つながる社会実証推進協議会活動」の事務局支援です。当協議会は、「新エネルギーやAI・IoTなどの先進技術の実証・実装による地域課題の解決を通じて、市民生活の安全・安心の向上、新産業の創出、産業の多角化、先進実証都市としての魅力向上を図り、豊田市や国内外を問わず持続可能な社会形成に貢献すること」を目的としています。豊田市のご意思を確認しながら、PMIの横連携としてソーシャルPM研究会の協力をいただきながら、企業ボランティアと協同連携し推進します。このように、地域の変革にチャレンジする豊田市に寄り添い貢献する中で、我々もチャレンジを行い、地域とPMIと共に成長します。

■おわりに

「どんな未来にしたいのか」からそのために「今をどうするのか」を考え、地域課題に取り組むためのソーシャルマネジメントの手法を学びつつ、中部地域で社会課題解決に取り組んでいる皆さんと一緒に活動しています。解決にはいろいろなアプローチがあり、その糸口を掴むためみんなで考えています。お互いに尊重し理解しあい、それぞれの強みを生かし弱みを補いながら共に学び共につくっています。

まだまだ未熟者ですが、支部支援のもとで情熱をもって推進しています。研究会メンバーは通年募集していますので、この分野にご興味関心のある方はぜひ一緒に活動してみませんか。

Activities / 支部活動

■ 創立20周年記念事業 総括

PMI日本支部 事務局

PMI日本支部は2018年1月16日に創立20周年を迎えました。

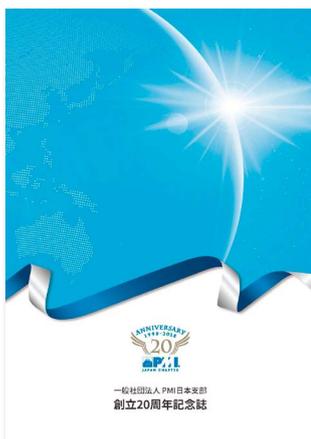
2017年4月に、「創立20周年記念プログラム」を企画・検討するワーキンググループが発足し、プログラムの実施に向けて稼働開始しましたが、多くのボランティアの方々や関係各位のご尽力により、プログラムをすべて予定通りに終えることが出来ました。本稿で、概括させていただきます。

1. 20周年記念誌

支部の歴史を編年体でまとめあげた「創立20周年記念誌」を発刊しました。とりまとめにあたっては、理事会議事録やニューズレターを拠り所としましたが、特に資料が散逸している創設期については、初代事務局長清水計雄氏から当時の資料を提供いただくなどご支援をいただき、当初目標より早く、印刷版2,000部を作成し7月の日本フォーラム2018の参加者全員に配布、またPDF版も日本フォーラム前日にダウンロードいただけるまでこぎつけました。

また、アクティブ会員アンケートや座談会で「これから10年先のPM像」を訴求でき、内容的にも充実させることができました。

日本支部の20年の発展に極めて多くの方のご尽力があったことを記録として残せたことは、大変意義深いと考えています。



2. 20周年記念イベント

(1) 記念セミナー

〔2018年5月20日(日) 学術総合センター 一橋講堂〕

日本国内の36,000余名のPMPホルダーの方々など、日本支部会員に限らず全て無料でご参加いただける記念セミナーを開催しました。当日は346名の方に参加いただき、日本支部会員ではない方が半数を占めました。NTTデータ 代表取締役社長(当時)岩本敏男様、麗澤大学 下田健人教授をはじめ4人にご登壇いただき、盛況裡に終了しました。



(2) 記念ゴルフコンペ

〔2018年9月22日(土) 小見川東急ゴルフクラブ〕

日本支部主催初のゴルフコンペを、法人スポンサー社員、支部会員など15名(4組)で開催しました。普段は会話する機会がないメンバーとのコミュニケーションが弾み、支部活動へのアドバイスなどいただけるなど、有意義な時間となりました。



Activities / 支部活動

■創立20周年記念事業 総括

(3) バーベキュー大会

〔2018年11月10日(土) 江東区立若洲公園〕

日本支部会員のご家族など総勢43名(大人33名、子供6名、幼児4名)に参加いただきました。日本支部の活動が多くの会員やそのご家族の支援で成り立っていることを実感する場となりました。



(4) アクティブ・メンバー・パーティー

〔2018年12月1日(土) 東京〕

記念イベントの締めとして、部会アクティブ・メンバー63名によるパーティーを東京大手町で開催し、大盛り上がりの中で、創立20周年記念イベントは閉幕しました。



3. 20周年記念出版「タレント・トライアングル」

本書は、タレント・トライアングル発表時の資料「THE PMI TALENT TRIANGLE™ — Your Angle on Success」に例示された3領域のキーワードを基に著されました。「Disruptive innovation」時代のPMに求められるスキルセットについて、約30名の日本支部会員の専門領域における知見をベースに、PMI発行の標準や調査レポートなどの関連資料を参考にしつつ、これからのPMに関する「実践のヒント」が詰め込まれています。

それぞれの執筆者の視点からまとめたオムニバス形式でのオピニオン集となっており、単体の読み物としてどの部

分からでも楽しんでお読みいただける内容となっています。Amazonや一般書店にてご注文いただけます。



4. 20周年アクティブ・メンバー海外動向調査

下記2件のグローバル会議を対象に、部会アクティブ・メンバーから4人を選出し海外動向調査を実施しました。

参加された4人は貴重な機会を存分に活用、業務経験や考察を加えた知見や気づきを整理し、広く動向発信を行いました。

- 「PMI Global Conference 2018」2018年10月6日(土)～10月8日(月) 米国ロサンゼルス：世界60か国からPM実務者が参加
- 「PMI PMO Symposium 2018」2018年11月11日(日)～11月14日(水) 米国ワシントンDC：世界30か国からPMOリーダー(組織のポートフォリオを指揮するリーダー)が参加



5. 20周年記念統一テーマ

2018年度のPMI日本フォーラム、PMI Japan Festaは、行政、企業が追い求めるIoTやデジタル社会へ向けた変革を実現させる組織活動に着目しました。プログラムマネジメント、アジャイル、リスク・マネジメントといったPPPMによるBRM (Benefits Realization Management) をキーワード

■創立20周年記念事業 総括

とし、統一テーマを『新しい潮流へのチャレンジ』に、サブテーマとしてフォーラムでは『境界を越えて』を、Festaは『激動する時代にプロジェクトマネジメントに求められる変化とは?』をそれぞれ定め、国内外のトップリーダーを招請し講演いただきました。

6. 20周年記念ロゴ、グッズ

日本支部創立20周年記念事業を契機とした日本支部の一層の認知度向上を図るため、記念ロゴとそれを配したグッズを製作し、各種イベント開催の際に配布しました。

記念ロゴは、日本支部の「富士山と桜」のロゴを継承しつつ、さらなる飛躍をイメージしたものとし好評を得ました。具体的には、当該記念ロゴ入りの名刺、フリクション・ボールペン、A4判ノート・パッド、パタパタ・メモ、金箔仕様クリア・フォルダー、日本酒升などを製作しました。国内60以上のPMI日本支部主催イベントの参加者をはじめ、PMI北米コンGRES、R9ミーティングなど海外イベント参加時にも要人に配布し、日本支部活動を十二分にアピールしました。



■「PMI日本フォーラム2019」スポンサーを募集中

PMI日本支部 事務局

2019年7月に開催する「PMI日本フォーラム2019」について、下記の要領でスポンサーを募集しています。締め切りはいずれも5月27日です。

プログラムに参加いただいた企業のお名前は、開催当日までホームページ上で紹介させていただきます。



■ PMI日本フォーラム2019 開催概要

主催：PMI日本支部

日時：2019年7月20日(土)、21日(日)

場所：学術総合センター（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）



■ 募集するプログラムの内容

https://www.pmi-japan.org/news/info/2019_02_06_Forum2019_sponsor_bosyu.php

(1) 展示

- ご用意する展示ブースにて、貴社製品やサービス内容を紹介します

(2) 協賛A（パンフ等）

- 受付にて貴社パンフレットやチラシを配布します
- 協賛企業として、小冊子（プログラム）に貴社ロゴ・社名を掲載します

(3) 協賛B（広告掲載）

- 「協賛A」の内容に加えて、小冊子に1ページ枠の広告を掲載します

(4) 名札

- 来場者全員が終日着用いただく名札に貴社名・ロゴを掲載します。
- 締め切り時点で複数応募があった場合は、抽選とさせていただきます。

(5) 給水機

- 会場内の給水機の横に、貴社名を掲示したパンフレット・スタンドを設置し、チラシ・パンフレットを配置していただけます

なお、「ランチセッションでの講演」、「併設トラックでの講演」の2つについては、既に募集を締め切らせていただきました。

Activities / 支部活動

■「PMI日本フォーラム2019」スポンサーを募集中

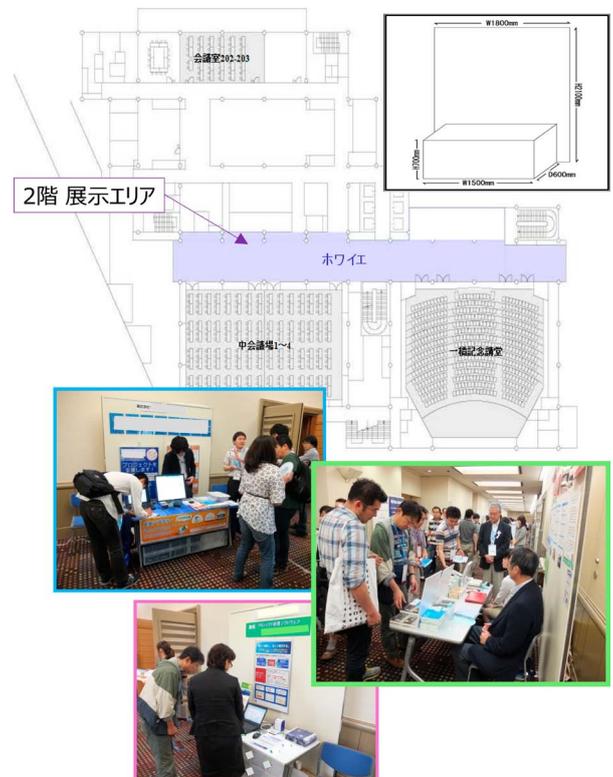
■費用（金額は全て税込）、特典等

	法人スポンサー (税込)	一般 (税込)	募集数	特 典	
				フォーラムへの無料参加 (受講証明の発行ナシ)	交流会への参加
1. 展示	108,000円	216,000円	制限なし	ブース対応者を含めて 2名まで参加可能	ブース対応者を含めて 2名まで 3,000円/人で参加可能
2. 協賛A (パンフレット)	108,000円	216,000円	制限なし	2名まで参加可能	2名まで 3,000円/人で参加可能
3. 協賛B (パンフレット+ 小冊子広告)	162,000円	324,000円	制限なし	3名まで参加可能	3名まで 3,000円/人で参加可能
4. 名札	162,000円	324,000円	1社	3名まで参加可能	3名まで 3,000円/人で参加可能
5. 給水機 (最大4台)	27,000円/台	54,000円/台	4社	給水機1台あたり 1名が参加可能	給水機1台あたり1名が 3,000円/人で参加可能

■各プログラムの詳細

(1) 展示

項目	内容	
設置場所	2階メイン会場前のホワイエ部分	
提供設備	●展示台テーブル (W1500 × D600 × H700)	
	●ポスター掲出用パネル (W1800 × H2100)	
	●椅子	
	●白色クロス	
	●電源コンセント	
効果	●来場者に展示企業様を周回していただけるようスタンプ・ラリーを実施し、名刺交換の機会を提供します。	
特典	●フォーラムへの無料参加	ブース対応者を含めて2名様まで参加いただけます。 (但し、PDU受講証明は発行しません)
	●貴社からの寄贈品の配布	スタンプ・ラリーの景品は事務局ブースにて配布しますが、貴社から寄贈品をご提供いただける場合は、それも合わせて景品とさせていただきます。
	●交流会への参加	ブース対応者を含めて2名様まで交流会に3,000円/人で参加いただけます。
参加料金 (税込)	●法人スポンサー：10万8千円 ●一般企業：21万6千円	

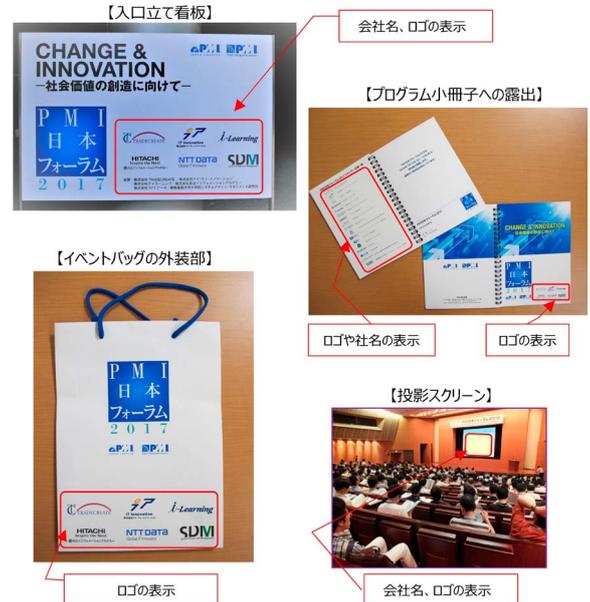


Activities / 支部活動

■「PMI日本フォーラム2019」スポンサーを募集中

(2) 協賛A (パンフ等)

項目	内容	
貴社パンフレット等の配布	● 受付時に、参加者全員に貴社のパンフレットなどの資料を配布できます（特製イベントバッグに同梱します）。	
貴社ロゴの掲出	<ul style="list-style-type: none"> ● 入口横の立て看板 ● 当日受付けで配布するプログラム小冊子の表紙 ● プログラム小冊子や貴社パンフレットを入れたイベントバッグの外装部 ● 休憩時間中での各トラック会場の投影スクリーン 	
効果	● 来場者（2日間で延べ1,400名を予定）に対して貴社が発信する情報が伝わります。	
特典	● フォーラムへの無料参加	2名様まで参加いただけます。（但し、PDU受講証明は発行しません）
	● 交流会への参加	交流会に2名様まで3,000円/人で参加いただけます。
参加料金（税込）	<ul style="list-style-type: none"> ● 法人スポンサー：10万8千円 ● 一般企業：21万6千円 	



(3) 協賛B (小冊子への広告掲載)

項目	内容	
貴社広告の掲載	● プログラム小冊子に貴社の広告を掲載します（小冊子は特製イベントバッグに同梱し受付で全員に手渡しします）。	
貴社パンフレット等の配布	● 受付時に、参加者全員に貴社のパンフレットなどの資料を配布できます（特製イベントバッグに同梱します）。	
貴社ロゴの掲出	<ul style="list-style-type: none"> ● 入口横の立て看板 ● 当日受付けで配布するプログラム小冊子の表紙 ● プログラム小冊子や貴社パンフレットを入れたイベントバッグの外装部 ● 休憩時間中での各トラック会場の投影スクリーン 	
効果	● 来場者（2日間で延べ1,400名を予定）に対して貴社が発信する情報が伝わります。	
特典	● フォーラムへの無料参加	3名様まで参加いただけます。（但し、PDU受講証明は発行しません）
	● 交流会への参加	交流会に2名様まで3,000円/人で参加いただけます。
参加料金（税込）	<ul style="list-style-type: none"> ● 法人スポンサー：16万2千円 ● 一般企業：32万4千円 	

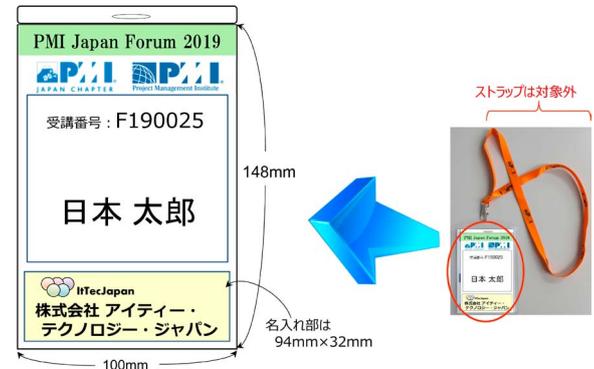


Activities / 支部活動

■「PMI日本フォーラム2019」スポンサーを募集中

(4) 名札

項目	内容	
名入れ部の大きさ	●募集は1枠 幅94mm×高さ32mm (名札の大きさ: 幅100mm×高さ: 148mm)	
効果	●来場者(2日間で延べ1,400名を予定)に対して 貴社をアピールできます。	
特典	●フォーラムへの 無料参加	3名様まで参加いただけます。 (但し、PDU受講証明は発行 しません)
	●交流会への参加	3名様まで交流会に3,000円/ 人で参加いただけます。
参加料金 (税込)	●16万2千円 (法人スポンサー) ●32万4千円 (一般企業)	



(5) 給水機

項目	内容	
内容	●会場内に設置する給水機の横に、貴社ロゴ、社名 等を印刷したパンフレットスタンドを設置します。 ●スタンドには、貴社のチラシ、パンフレット等を 設置していただけます。 ●給水機の設置場所は、1階に1箇所、2階に3箇所の 計4箇所(計4台)です。複数を選択いただくこと も可能です。	
効果	●来場者(2日間で延べ1,400名を予定)に対して貴 社をアピールできます。	
特典	●フォーラムへの 無料参加	給水機1台あたり1名様に参加 いただけます。 (但し、PDU受講証明は発行 しません)
	●交流会への参加	給水機1台あたり1名様が交流 会に3,000円/人で参加いた だけます。
参加料金 (税込)	●2万7千円/台 最大4台まで (法人スポンサー) ●5万4千円/台 1台のみ (一般企業)	



■お申込み

お申込みは [専用フォーム](#) からお願いします。

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

■ 株式会社オーシャン・コンサルティング

株式会社オーシャン・コンサルティングは、PMO（プロジェクト・マネジメント・オフィス）を専門とするコンサルティング会社です。コンサルタント職以上の社員にはPMP資格の取得を必須としており、知識と経験の両方を備えた高度なプロジェクトマネジメント能力を有するプロフェッショナル集団です。これまで官民間問わず様々なプロジェクトを支援し成功に導いてきました。



1. 企業概要

弊社はPMOを専門とするコンサルティングファームです。弊社は2008年のリーマンショックが起きた年に設立された会社ですが、厳しい環境に適応しながら昨年無事10周年を迎えることができました。経営理念として

「PMOでNo.1になる」

ことを掲げ、これまで東証一部上場企業を中心に多くのPMO実績を積み重ね、クライアント企業のプロジェクトを成功へと導いてきました。

プロジェクトを成功へと導くためには、プロジェクトに関わるさまざまなステークホルダーとの信頼関係を築くことが最も大切なことだと考えますが、わたしたちはそのために3つの行動指針を持ち、これら行動指針に則り日々活動しています。

■ 現場目線を持つ

プロジェクトの現場に興味関心を持ち、また当事者意識を持ち、現場の人たちの目線まで降りて共感しながら一緒に仕事をします。

■ 手を動かす

現場の人と一体感をもって仕事をするために、口先だけではなく手を動かします。手を動かすからこそ、さまざまなアイデアや発想が生まれることをわたしたちは経験的に理解しています。わたしたちはプロジェクトマネジメントの単なる評論家ではありません。

■ 誠実である

責任感を持ち真摯に仕事に取り組むとともに、適切なプロジェクトマネジメントがおこなわれるために偽りのない正確な情報をタイムリーに報告します。

わたしたちは今後もPMOを専門とし、全社一丸となって「PMOでNo.1になる」ことを目指します。

2. 事業内容

弊社はPMOのプロフェッショナルカンパニーとして企業単位、組織単位、あるいはプロジェクト単位でクライアント企業のプログラムマネジメントやプロジェクトマネジメントを支援いたします。

例えば、ガバナンスが未成熟なプロジェクトに対してはプロセス定義、標準化、可視化、レポート環境の整備等をおこない、そこに秩序をもたらすと共にプロジェクトマネジメントの実行、推進を強力におこないます。組織の中で実行される各プロジェクトに対しては、数多くの実績の中で蓄積した知見や経験をもとにして横断的にプロジェクトマネジメントを支援します。

弊社がクライアント企業から選ばれる理由として3つの強みがあります。

■ PMO事業に特化

PMO事業に特化することで大規模プロジェクトだけでなく、小規模プロジェクトまで含めて豊富なPMO実績を有し

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

■株式会社オーシャン・コンサルティング

ています。また、PMOに関する経験や実績はナレッジとして社内に蓄積されています。

■プロジェクトマネジメント資格取得者による支援

PMP資格を有するPMOコンサルタントを中心にPMO事業をおこなっています。社員の半数以上がPMP資格を取得していますが、今年度中に全社員の取得を目指しています。

■社内教育システムの充実

オーシャン・アカデミーと呼ぶ社内教育システムを構築し、PMOコンサルタントを育成しています。PMO未経験者でも早期に実践で活躍できることを目指し構築したものです。

PMOの役割や呼称はクライアント企業やプロジェクトによってさまざまですが、わたしたちはクライアント企業のニーズや企業文化にあわせてPMOの役割範囲を定義し、PMBOK®という“共通言語”を持ったPMOコンサルタントたちが豊富な経験と実績をもとにクライアント企業を支援します。

3. 社内教育システム「オーシャン・アカデミー」

オーシャン・アカデミーは弊社独自の研修制度で、PMOスキルをゼロから学ぶことができます。オーシャン・アカデミーには未経験者をプロフェッショナルに育て上げるための3つの特長があります。

- ①講師は豊富な実践経験を持つ先輩コンサルタント
- ②実践経験を盛り込んだ手づくりの教育マテリアル
- ③座学中心ではなくピア・ラーニングによる演習が中心

基礎編から専門編まで、先輩コンサルタントとの対話形式で演習を交えながら学習を進めることができるため、一般的なプロジェクトマネジメント研修と比較すると、受講者の成長速度が早くなっています。

■基礎編

受講者のベーススキルの向上がテーマとなっています。ビジネスパーソンとして基礎的なスキルである「アクティブリーディング」「ポジティブリスニング」「ロジカルシンキング」など、講義と演習を通して学ぶことができます。ヒューマンスキルの向上にもつながるところがあるため、プライベートの対人関係等でも活用することができます。

■専門編

受講者のプロジェクトマネジメントスキルの向上がテーマとなっています。仮想のプロジェクトを立てて「計画書作成」

「品質管理」「課題対応」など講義と演習に加え、他プロジェクトに参画している社員と意見交換しながらプロジェクトマネジメントの手法や技法、考え方を学ぶことができます。実践に基づいた研修になっているため、研修後すぐに担当プロジェクトでパフォーマンスを発揮することができます。

また、最近では基礎編や専門編の垣根を超えてPMOスキルレベルのさまざまなメンバーが参加するケースメソッドワークショップを定期的に行い、具体的な事例を用いて参加者間で討議し、プロジェクトマネジメントの疑似体験をおこなっています。一方的な講義では身に付けることのできない実践的なプロジェクトマネジメント能力をPMO未経験者に身に付けさせることが最大の目的です。



4. PMI日本支部への期待

2017年10月より、PMI日本支部の法人スポンサーとなりました。

PMI日本支部様の各種セミナーやイベントなどには現在も参加していますが、今後はより積極的に参加させていただき、各種セミナーや弊社以外の法人スポンサー様との情報共有、意見交換を通して得た知識を社内やさまざまなプロジェクトで活用させていただきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

■株式会社オーシャン・コンサルティング

〒103-0027

東京都中央区日本橋3-14-3 武田江戸橋ビル4階

<https://www.oceanc.jp/>

■ 株式会社SHIFT

SHIFTは、ソフトウェアの品質保証・テストの専門企業です。「無駄をなくしたスマートな社会の実現」を目指し、金融機関などのエンタープライズ領域における基幹システムから、ECサイト、スマートフォン向けのアプリ・ゲーム検証まで幅広い分野のお客様に対する品質保証サービスを手掛けています。

SHIFTは2005年の創業から、人がより良く幸せに暮らせる社会を目指し、世の中に新たな価値を提供できる企業となるべく進化を続けてきました。2009年には、ソフトウェアの品質保証・テスト事業への転換を行い、そこから約10年間でご支援させていただいた企業は1,000社以上、2,500製品を超えるソフトウェアの品質保証業務を行ってきました。2014年には、東証マザーズ市場への上場も果たし、創業から14年目を迎えた2019年現在は、連結売上高は前年比156%、従業員数3,000名に迫る勢いで成長を続けています。

その常識、変えてみせる。



1. IT業界における課題と、ソフトウェア品質に対する注目度の高まり

現代社会においてITは、あらゆる産業・業種に関わらず企業の事業運営に欠かせない重要なインフラとなっています。さらに、情報セキュリティやシステムの不具合に伴う事故は社会問題にもなり、ソフトウェア品質に関する注目度は年々高まっています。一方でIT業界は、ITエンジニアの経験やノウハウ不足、労働者人口自体の減少による人材不足などさまざまな課題を抱え、中でも深刻なITエンジニアの不足数は、2020年には36.9万人、さらに2030年には78.9万人にもおよぶという調査結果^{*1}も発表されています。技術の高度化・複雑化が急速に進む中で、これらの課題は今後より一層大きなものとなることが予想されます。

※1 参考：経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」（平成28年6月10日発表）
http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/27FY/ITjinzai_report_summary.pdf

2. IT業界のボトルネックを解消する事業

IT業界の課題解決に対して、企業各社は既存の労働力で最大限の生産性を発揮する人員配置や、各専門領域の分業化による業務効率の向上に奔走しています。しかし、技術の高度化・複雑化が加速度的に進む中、今後より一層大きくなるであろうこれらの課題を一企業が自社内のリソースや施策のみで解決するには限界があるのではないのでしょうか？

SHIFTは、このような企業の課題や悩みを解決できる企業でありたいと考えています。SHIFTが手掛けるソフトウェアの品質保証・テスト（以下、品質保証・テスト）は、開発工程全体の45.5%ともいわれる膨大な工数を必要とし、あらゆる事業、製品・サービスにとって生命線となる『品質』を支える工程です。この工程をSHIFTのようなプロに委ね、開発会社は開発業務やマーケティングに集中する。そんな分業化の考え方が、今後のIT業界の成長を後押しする力になると考えています。現在、国内において各業界の業務知見と、品質保証・テスト業務を専門で担える技術を兼ね備えた企業は決して多くありません。その数少ない企業の一つとして、SHIFTは自社の技術開発、サービス領域の拡大にも注力しています。品質保証のコンサルティング業務はもとより、ITセキュリティ、システムの性能改善、UI/UXに関わる技術まで、SHIFTグループ全体で企業の事業運営に関するボトルネックを解決していくことにより、私たちSHIFTが追及する「無駄をなくしたスマートな社会の実現」に一步でも近づけてまいります。

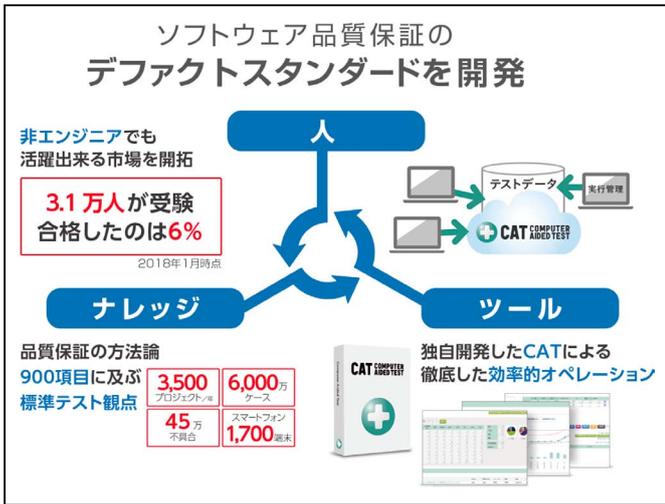
3. SHIFTが持つ3つの強み

SHIFTには、徹底的に仕組み化された組織の中で、品質保証・テストに高い資質を持った優秀な「人」、膨大な数の「ナレッジ」、独自開発の「ツール」という3つの強みがあります。これが、高品質で付加価値の高いサービスを提供できるSHIFTの品質保証・テストのデファクトスタンダードです。

Stakeholders / 法人スポンサー紹介

■株式会社SHIFT

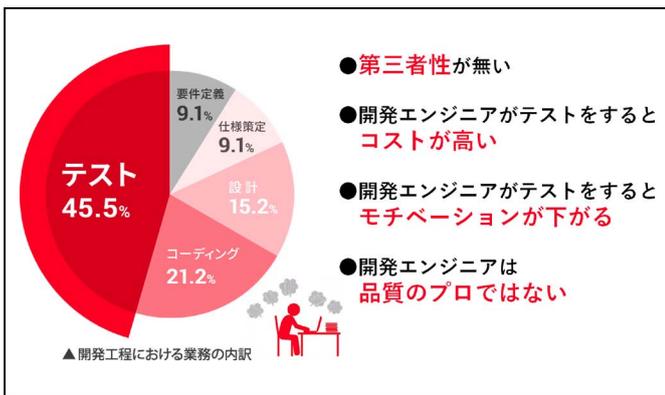
図1 SHIFTが持つ3つの強み



■人

多くの企業、開発現場では、開発工程における多くの工数(時間・手間)を有する品質保証・テスト業務を、ソフトウェアを作った開発者自らが実施する現状が未だ多く見受けられます。この現状が、開発プロジェクトの工数やコストを圧迫し、ソフトウェアの品質低下、現場のモチベーション低下など様々な問題を引き起こします。SHIFTでは、品質保証・テスト業務に高い資質を持った人材を「CAT検定」という独自の検定制度によって見つけ出し、採用しています。

図2 テスト業務の負荷と開発者のモチベーション

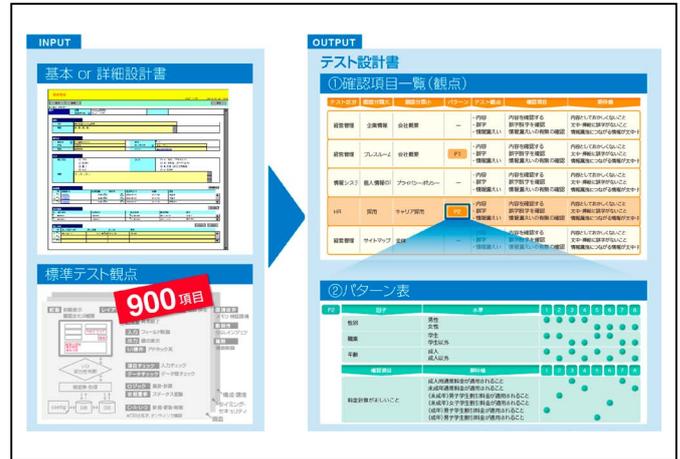


■ナレッジ

SHIFTでは年間3,500プロジェクトに対する品質保証・テスト業務を実施しています。創業から現在まで200万ケースもの「ソフトウェアテスト業務」におけるデータが蓄積されており、その蓄積されたナレッジを、以降の類似したプロジェクトへの活用、他プロジェクトに応用することで、不具

合が発生しやすい要素を早期に検出し、未然の対策を打つことが可能となります。

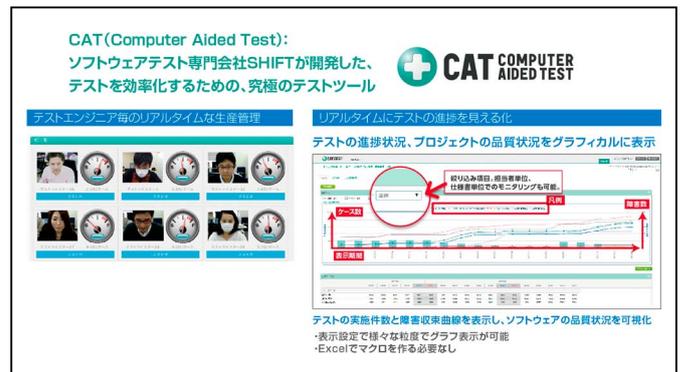
図3 SHIFTの品質保証・テストの方法論



■ツール

CATは、品質保証・テストを専門とするSHIFTが自社の業務効率化を目的に開発したソフトウェアテスト管理ツールです。開発プロジェクトに関わる各種ドキュメントや他ツールとの連携精度の高さ、プロジェクトの生産性向上への貢献度を自社事業のクライアント企業をはじめとした多くのユーザーから評価いただき、2015年より自社製品として企業や個人ユーザーに販売を行っています。

図4 CATによる効率的なオペレーション



4. PMI日本支部に期待すること

市場の変化やIT技術の進化・発展に伴い、品質保証・テストも日々進化を続けなくてはなりません。そのためにSHIFTがすべきことは、日々進化する新たな技術に対して、グローバルでの競争力を失わないようスピーディに品質保証

■株式会社SHIFT

サービスを提供し続けること、IT業界に適材適所の分業化・業務の効率化を浸透させ、生産性の高い業界への変革に向けた支援をさせていただくことだと考えています。その支援の一つとして、SHIFTでは品質保証・テストの工程と密接な関係にあるプロジェクトマネジメントの技術を自社の知見やノウハウと融合させたPMOサービスの提供にも注力しています。テスト戦略の策定、要件定義の段階から品質を作りこむRFPの作成、品質管理標準の策定など、「品質」に関わる

専門企業だからこそそのユニークなサービス、マルチベンダーコントロールPMOまで幅広くサービスを展開しています。

PMI日本支部に参加することで、会員の方々の情報交換や議論を行い、SHIFTのこのような取り組みに関するフィードバックもいただき成長を果たしたいと考えております。この活動が、日本のIT業界の技術や人に関する未来を創造するきっかけとなれば幸いです。

PM Calendar / PM カレンダー

PMI日本支部のイベントならびにPM教育関連セミナーなどの案内です。
詳しくは、PMI日本支部のWebサイトをご参照ください。

【ホームページにて公開中】

PMI日本支部関連セミナー

● デザイン思考実践 (2日間)

～顧客経験 (CX) からの革新商品&サービス開発～

- 日時：4月8日(月)・4月9日(火) 9:30～18:00
- 場所：PMI日本支部セミナールーム
- 14PDU、ITC実践力ポイント14時間分

● 4月度月例セミナー

- 日時：2019年4月19日(金) 19:00～21:00
- 場所：アクセス渋谷フォーラム
- 2PDU、ITC実践力ポイント2時間分

● ケースメソッドによるPM実践力強化研修体験コース

- ◇ 日時：5月16日(木) 9:30～17:30
- 場所：PMI日本支部セミナールーム
- 6.5PDU、ITC実践力ポイント6.5時間分

● 中部ランチ主催特別セミナー

「大規模プロジェクトマネジメント成功のカギ」

- 日時：4月10日(水) 19:00～21:00
- 場所：愛知県産業労働センター ウィンクあいち
- 2PDU、ITC実践力ポイント2時間分

● 変革をリードする次世代リーダーシップ即戦力アップ

- 日時：4月22日(月) 9:30～18:00
- 場所：PMI日本支部セミナールーム
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

● ファシリテーション型リーダーシップ基礎

- 日時：5月23日(木) 9:30～18:00
- 場所：PMI日本支部セミナールーム
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

PMI日本支部関連イベント (予定)

● PMI 日本フォーラム 2019

- 日時：2019年7月20日(土)・21日(日)
- 場所：学術総合センター (一橋記念講堂)

● PMI Japan Festa 2019

- 日時：2019年11月23日(土)・24日(日)
- 場所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館

【月例セミナー開催について】

2019年度の月例セミナーは、下記の日程で渋谷にて行います。

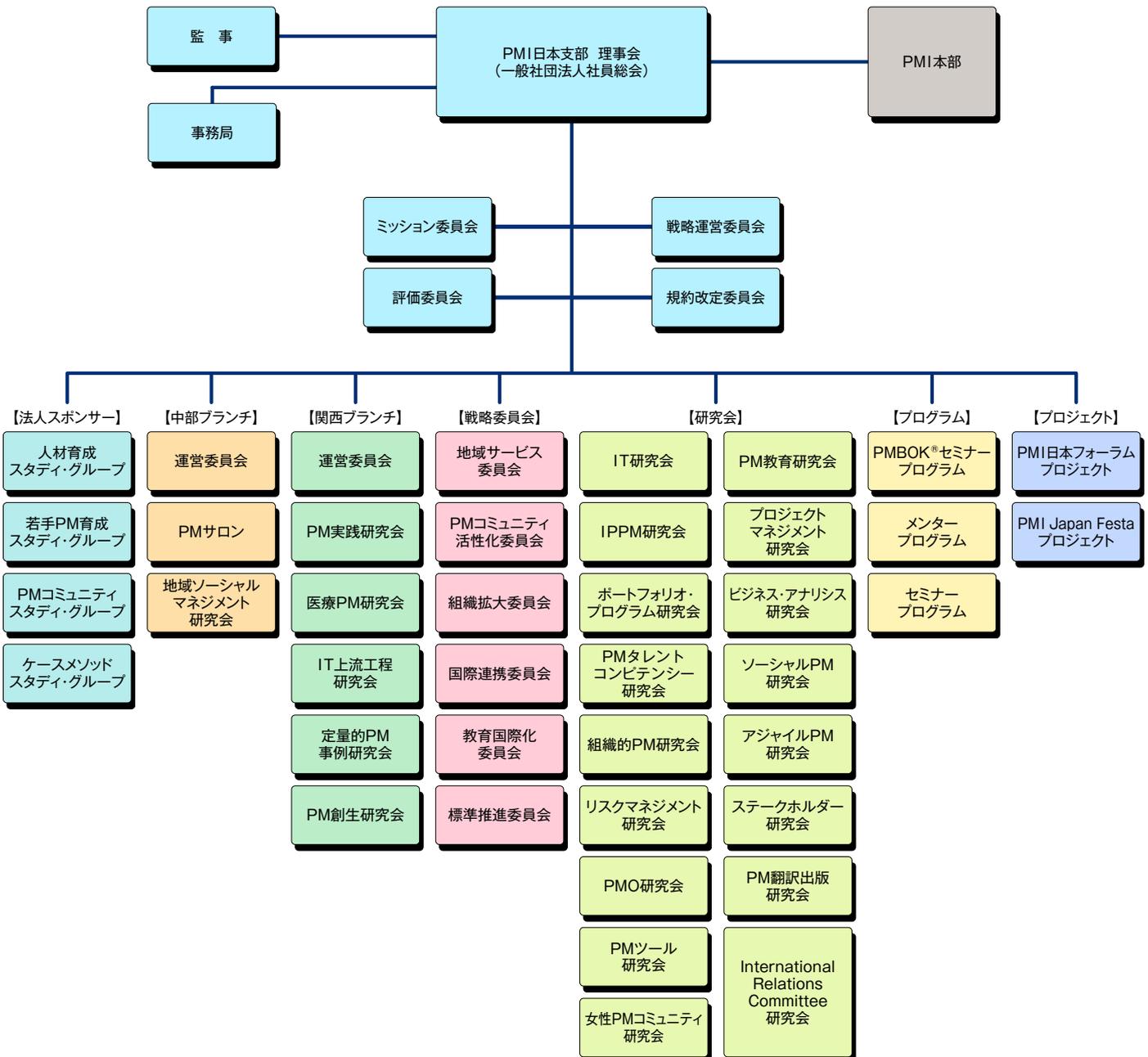
【日程(予定)】	(2019年1月26日(土) 新春特別セミナー)		
	① 2019年2月15日(金)	④ 2019年5月17日(金)	⑦ 2019年9月13日(金)
	② 2019年3月15日(金)	⑤ 2019年6月21日(金)	⑧ 2019年12月11日(水)
	③ 2019年4月19日(金)	⑥ 2019年8月7日(水)	
【場 所】	アクセス渋谷フォーラム		
(新春特別セミナーを除く)	東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー 24階		
	東京メトロ銀座線、半蔵門線、副都心線 「渋谷」駅 15番出口から徒歩3分		

*なお、イベント、セミナー、コースなどは、諸般の事情により変更または中止される場合があります。
PMI日本支部ホームページで確認をお願いいたします。(https://www.pmi-japan.org/event/)

Fact Database / データベース

PMI日本支部やPMP®資格取得者に関する最新情報をお届けします。

■ 支部活動 (2019年3月現在)



■理事一覧 (2019年3月現在)

会長 ^(※)	: 奥澤 薫 (KOLABO)
副会長 (地域サービス委員会 [※])	: 浦田有佳里 (TIS株式会社)
副会長 ^(※)	: 片江有利 (株式会社システムコストマネジメント)
副会長 ^(※)	: 端山 毅 (株式会社NTTデータ)

※規約改定・評価・ミッション・戦略運営の4委員会を兼務

(以下、五十音順)

理事 (組織拡大委員会)	: 麻生重樹 (日本電気株式会社)
理事 (ミッション委員会)	: 池田修一 (株式会社ポジティブ・ラーニング)
理事 (教育国際化委員会)	: 伊藤 衡 (慶応大学大学院)
理事 (教育国際化委員会)	: 井上雅裕 (芝浦工業大学)
理事 (ミッション委員会)	: 岩岡泰夫 (株式会社国際開発センター)
理事 (地域サービス委員会)	: 木南浩司 (株式会社マネジメントソリューションズ)
理事 (組織拡大委員会)	: 斉藤 学 (スカイライト コンサルティング株式会社)
理事 (標準推進委員会)	: 鈴木安而 (PMアソシエイツ株式会社)
理事 (国際連携委員会)	: 武上弥尋 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
理事 (標準推進委員会)	: 中嶋秀隆 (プラネット株式会社)
理事 (コミュニティ活性化委員会)	: 福本伸昭 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
理事 (財政担当)	: 三嶋良武 (株式会社三菱総合研究所)
理事 (組織拡大委員会)	: 水井悦子 (PMOコンサルティング自営)
理事 (コミュニティ活性化委員会/戦略運営委員会)	: 森田公至 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
理事 (教育国際化委員会)	: 除村健俊 (芝浦工業大学)
理事 (組織拡大委員会)	: 渡辺哲也 (株式会社日立インフォメーションアカデミー)
監事	: 神庭弘年 (神庭PM研究所)
監事	: 平石謙治 (ビー・ティー・ジー・インタナショナル)
監事	: 渡辺善子 (株式会社日本政策金融公庫)
顧問 (地域サービス委員会)	: 木下雅裕 (ニッセイ情報テクノロジー株式会社)
顧問 (国際連携委員会)	: 杉村宗泰 (日本マイクロソフト株式会社)
顧問 (コミュニティ活性化委員会)	: 高橋正憲 (PMプロ有限会社)

■最新の会員・資格者情報 (2019年1月31日現在)

会員数		資格保有者数								
		PMP [®]		PMI-SP [®]	PMI-RMP [®]	PgMP [®]	PMI-ACP [®]	PfMP [®]	PMI-PBA [®]	CAPM [®]
PMI本部	日本支部	世界全体	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住
565,021人	4,685人	910,431人	36,652人	4人	8人	8人	62人	3人	10人	144人

■行政スポンサー (2019年3月現在)

- 三重県 桑名市
- 滋賀県 大津市

■法人スポンサー 一覧 (109社、順不同、2019年3月現在)

- TIS株式会社
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 株式会社NSD
- 株式会社インテック
- キヤノンITソリューションズ株式会社
- 日本電気株式会社
- アイアンドエルソフトウェア株式会社
- 株式会社NTTデータ
- プラネット株式会社
- 株式会社建設技術研究所
- 日本ユニカシステムズ株式会社
- 株式会社クレスコ
- ラーニング・ツリー・インターナショナル株式会社
- 日本ヒューレット・パカード株式会社
- 株式会社アイ・ティ・ワン
- コンピューターサイエンス株式会社
- 株式会社タリアセンコンサルティング
- TDCソフト株式会社
- 株式会社大塚商会
- 日本プロセス株式会社
- 株式会社NTTデータ関西
- 日本ユニシス株式会社
- Kepner-Tregoe Japan, LLC.
- JBCC株式会社
- 株式会社富士ゼロックス総合教育研究所
- 日本アイ・ビー・エム・ビズインテック株式会社
- 株式会社アイテック
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア
- 株式会社日立インフォメーションアカデミー
- 情報技術開発株式会社
- アイシンク株式会社
- 三菱総研DCS株式会社
- ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
- 東芝テック株式会社
- 三菱スペース・ソフトウェア株式会社
- 株式会社三菱総合研究所
- NTTデータアイ株式会社
- 新日鉄住金ソリューションズ株式会社
- 株式会社日立ソリューションズ
- 日本自動化開発株式会社
- 日揮株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社アイ・ティ・イノベーション
- NECネクサソリューションズ株式会社
- 株式会社JSOL
- ニッセイ情報テクノロジー株式会社
- 株式会社リコー
- 株式会社システム情報
- 住友電気情報システム株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ
- 株式会社マネジメントソリューションズ
- NDIソリューションズ株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社システムインテグレータ
- 日本ビジネスシステムズ株式会社
- コベルコシステム株式会社
- 日本電子計算株式会社
- 富士電機株式会社
- 株式会社日立システムズ
- 株式会社神戸製鋼所
- 日本証券テクノロジー株式会社
- クオリカ株式会社
- 株式会社エクサ
- 株式会社ラック
- 三菱電機株式会社
- TAC株式会社
- 日本情報通信株式会社
- 株式会社日立社会情報サービス
- 株式会社シグマクシス
- 株式会社TRADECREATE
- 株式会社日本ウィルテックソリューション
- システムスクエア株式会社
- 株式会社アイ・ラーニング
- 株式会社トヨタシステムズ
- 東芝インフォメーションシステムズ株式会社
- 株式会社ワコム
- NCS & A株式会社
- 日本システムウェア株式会社
- 日立物流ソフトウェア株式会社
- SCSK株式会社
- 株式会社東レシステムセンター
- ビジネステクノクラフツ株式会社

- 株式会社シティアスコム
- SOMPOシステムズ株式会社
- 株式会社エル・ティー・エス
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- MS & ADシステムズ株式会社
- 日本クイント株式会社
- リコージャパン株式会社
- 株式会社HS情報システムズ
- 株式会社アジャイルウェア
- ソフトバンク・テクノロジー株式会社
- 株式会社インテジテクノスフィア
- 株式会社ネクストスケープ
- セブンスカイズ株式会社
- 関電システムソリューションズ株式会社
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 株式会社オーシャン・コンサルティング
- 株式会社リクルートテクノロジーズ
- アクシスインターナショナル株式会社
- 株式会社ネットラーニング
- JFEシステムズ株式会社
- アドソル日進株式会社
- キヤノン株式会社
- 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
- 富士ゼロックス株式会社
- 大日本印刷株式会社
- 株式会社ビジネスコンサルタント
- 株式会社SHIFT

■アカデミック・スポンサー 一覧 (47教育機関、登録順、2019年3月現在)

- 産業技術大学院大学
- 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
- サイバー大学
- 芝浦工業大学
- 金沢工業大学
- 九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻
- 広島修道大学経済科学部
- 北海道大学 大学院情報科学研究科
- 山口大学大学院技術経営研究科
- 筑波大学大学院システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻
- 早稲田大学 ビジネススクール
- 早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科
- 公立大学法人 広島市立大学 情報科学部
- 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校
- 北海道大学 サステイナビリティ学教育研究センター
- 大阪大学 大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻
- 愛媛大学工学部および大学院理工学研究科工学系
- 国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校
- 学校法人中部大学 経営情報学部
- 京都光華女子大学
- 鹿児島大学産学連携推進センター
- 中央大学 文学部社会情報学専攻
- 千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科
- 京都工芸繊維大学 ものづくり教育研究支援センター
- 東京工科大学大学院 コンピュータサイエンス専攻
- 北海道情報大学
- 山口大学工学部知能情報工学科
- 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科および大学院医療秘書学専攻
- 青山学院大学 国際マネジメント研究科
- 公立大学法人 公立はこだて未来大学
- 大阪府立大学 21世紀科学研究機構 産学協同高度人材育成センター
- 慶應義塾大学・理工学部・管理工学科・飯島研究室
- 就実大学 経営学部
- 神戸女子大学 家政学部 家政学科
- 明石工業高等専門学校 建築学科 大塚研究室
- サレジオ工業高等専門学校 一般教育科 物理教育学研究室
- 北陸先端科学技術大学院大学 知識マネジメント領域
- 中京大学 情報センター
- 法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科
- 札幌学院大学
- 国立研究開発法人 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター
- 岡山大学 教育研究プロジェクト戦略本部 戦略プログラム支援ユニット (URA)
- 香川大学大学院 地域マネジメント研究科 中村研究室
- 明治大学 経営学部 鈴木研一研究室
- 中京大学 経営学部 齊藤毅研究室
- 独立行政法人国立高等専門学校機構舞鶴工業高等専門学校
- 愛媛大学 教育・学生支援機構学生支援センター 丸山智子研究室

Editor's Note / 編集後記

執筆者の皆さまへ。お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

- ニューズレター70号（2017年6月発行）から開始した日本支部の部会活動紹介シリーズも最終回となりました。今号は中部ブランチの特集。『運営委員会』、『PMサロン/セミナー』、『地域ソーシャルマネジメント研究会』の3部会です。
- 支部創立20周年にあたる2018年は、多くのボランティアの方々をはじめ会員の皆さまのご協力の下、数多くの記念行事を実施しました。今号ではそれらを総括しました。
- 今年7月20日(土)・21日(日)に開催する「PMI日本フォーラム2019」の準備も終盤戦に差し掛かろうとしています。現在、「フォーラム・スポンサー」となっていただけの団体を募集中です。そのご案内を掲載しました。
- 「法人スポンサー紹介」は、2社から寄稿いただきました。株式会社オーシャン・コンサルティングさまは知識と経験の両者を備えた高度なプロジェクトマネジメント能力を有するプロフェッショナル集団で、PMOを専門とするコンサルティング会社。株式会社SHIFTさまは、金融機関などのエンタープライズ領域における基幹システムからスマートフォン向けのアプリ・ゲーム検証まで幅広い分野での品質保証・テストを専門に手掛けておいでです。

ニューズレター編集担当から読者の皆様へお願い

皆さまからの書評、論評、トピックス、セミナー受講レポート、プロジェクト体験記、PMP認定試験受験体験記などを募集しています。PMI日本支部事務局宛てにお送りください。

さて、天皇陛下の譲位と皇太子さまの新天皇即位に伴う新元号の公表（4月1日）まで秒読み段階に入り、世はいよいよ、かまびすしさを増しています。「平成最後の」という冠言葉が使えるのもあと数日。30年前を振り返ると、昭和天皇崩御の後を追うように手塚治虫、美空ひばりが逝く中、テトリスに興じながらプリンセス・プリンセスの「Diamonds」を聴き入っていた自分を思い出します。

新元号の下でもさまざまな改革が進むPMI日本支部。創立50周年を迎えるPMIと相まって、皆さまと共に前進あるのみ！今年もよろしくお願い致します。

PMI日本支部ニューズレター Vol.78 2019年3月発行

編集・発行：PMI日本支部 事務局
 〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲3-15 センタービル3階
 TEL：03-5847-7301 FAX：03-3664-9833
 E-mail：info@pmi-japan.org
 ホームページ：https://www.pmi-japan.org/

(非売品)